

**三菱UFJニコス、東急電鉄の宅配サービス「東急ベル」の代金収納に、
クレジットカード・口座振替を一元管理できる「EC決済ソリューション」を導入！
～デパ地下グルメの通販店舗「東急百貨店フードダイレクト/リカーダイレクト」でスタート！～**

三菱UFJニコスはこの度、東京急行電鉄株式会社(東京・渋谷、野本弘文社長、以下東急電鉄)の宅配サービス「東急ベル」の代金収納に、クレジットカード払い・口座振替に一括対応する「EC決済ソリューション」を導入することで合意、10月25日からその取り扱いを開始しました。

「EC決済ソリューション」は、通信販売のカード決済やコンビニ収納など計7つの決済メニューの中から、加盟店がお好みのメニューを選んで導入できる総合決済システム。加盟店の販売方法や受注形態、システム環境に柔軟に対応し、決済メニューを加盟店管理画面で一元管理できることが特長となっており、導入先は大手企業から専門店まで約16,500社に至ります。

なお、「東急ベル」は本年6月にスタート、“ホーム・コンビニエンスサービス”を標榜し、ご高齢の方や子育て中の主婦層等が専用カタログやWebサイトから、食料品などの宅配を申し込めるサービス。なお、東急百貨店などグループ各社から受託した商品群で構成しています。

今般、「東急ベル」の本格展開第一弾となる、デパ地下グルメ(生鮮食品、スイーツ、お酒等)の通販ショップ「東急百貨店フードダイレクト/リカーダイレクト」の開設(10月25日から)にあたり、顧客の支払い方法の拡充を目的に、当社システムの導入に至ったものです。これにより顧客は、専用カタログやWebサイトから商品を購入する際に、東急カード「TOP&カード」での支払い、代金引換のほか、VISA・MasterCardブランドなどのクレジットカード払い、金融機関口座からの自動引き落としが選択可能となります。

当社では、「EC決済ソリューション」のほか、次世代決済基盤を目指すクラウド型マルチ決済システム「J-Mups」やスマートフォンを決済端末に転用する「ペイメント・マイスター」など、顧客や加盟店にとって利便性の高い決済システムの開発に積極的に取り組んでおり、今後も多様な決済シーンにおける“キャッシュレス化”を推し進めていきたいと考えています。

<今回導入の「EC決済ソリューション」>

1. クレジットカード決済・・・当社カードをはじめ、Visa、MasterCard、JCB、アメリカン・エキスプレス、ダイナースの5大国際ブランドのカードが利用可能
2. 口座振替・・・・・・・・・・顧客が指定した金融機関の口座から自動引き落とし

以上

<添付資料>

□「EC決済ソリューション」の商品概要

【クレジットカード決済(ECカード決済システム)】

通信販売におけるクレジットカードの販売承認・売上請求をオンラインで行い、加盟店の業務効率化・コスト削減に貢献します。また、クレジットカード情報の安全管理を目的に、カード情報保護の国際基準PCIDSS※に準拠しています。

【コンビニ決済(払込票)】

全国のコンビニエンスストアや郵便局を窓口として、バーコードが印字された払込票を用いて支払い可能となります。

【コンビニ決済(ペーパーレス)】

バーコードが印字された払込票を作成・郵送する代わりに、Webやメールで顧客へ支払い用の番号を連絡します。顧客はスピーディーな支払いが可能となります。

【ペイジー決済】

ATMやインターネットバンキング・モバイルバンキングでの支払いが可能です。加盟店は入金情報をリアルタイムで確認することができます。

【バーチャル口座決済】

顧客ごとに当社名義の入金照合専用の仮想(バーチャル)口座を提供します。加盟店は入金照合の作業を合理化できます。

【ビルプロセッシングサービス】

当社提供のデータベース機能を活用することで、顧客属性などの各種データ管理から口座振替決済まで、代金決済業務を一括してアウトソーシングできます。

【インターネットエントリー】

請求データを当社サーバにアップロードすることで、金融機関への請求データを自動作成し、口座振替決済を行います。

※PCIDSS(Payment Card Industry Data Security Standard)

国際カードブランド5社(Visa/JCB/MasterCard /American Express/Discover)が共同で策定したクレジット業界におけるグローバルセキュリティ基準。クレジットカード番号とクレジットカードに関連する情報を保護するために実施すべき、200項目以上の要求事項が規定されています。

以上